

平成20年3月期 第3四半期連結決算概要

平成20年2月4日
住友化学株式会社

(単位：億円)

1. 業績

	平成19年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期	増減	平成19年3月期
売上高	12,962	13,910	948	17,900
営業利益	1,054	759	295	1,396
経常利益	1,209	855	354	1,580
四半期(当期)純利益	729	405	324	939
1株当たり四半期(当期)純利益	44円14銭	24円52銭	19円62銭	56円82銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	9.8%	5.2%	4.6%	12.4%
平均為替レート(円/\$)	116.19	117.35	-	116.97
ナフサ価格(円/KL)	50,300	59,800	-	50,000

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成19年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期	増減	平成19年3月期
基礎化学	売上高	2,282	2,340	58	3,140
	営業利益	95	96	1	135
石油化学	売上高	3,978	4,409	431	5,391
	営業利益	175	43	132	236
精密化学	売上高	690	696	6	909
	営業利益	100	91	9	131
情報電子化学	売上高	1,982	2,140	158	2,664
	営業利益	86	2	84	35
農業化学	売上高	1,382	1,426	43	1,983
	営業利益	132	114	17	233
医薬品	売上高	1,755	1,792	38	2,345
	営業利益	427	386	41	562
その他	売上高	893	1,106	213	1,468
	営業利益	49	34	15	80
消去	売上高	-	-	-	-
	営業利益	(9)	(7)	2	(15)
合計	売上高	12,962	13,910	948	17,900
	営業利益	1,054	759	295	1,396

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 4 日

上場会社名 住友化学株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 4005 (URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米倉 弘昌
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長 (氏名) 酒井 基行 TEL (03)5543-5265

(百万円未満四捨五入)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,390,983	7.3	75,944	27.9	85,483	29.3	40,483	44.5
19年3月期第3四半期	1,296,206	18.1	105,404	19.2	120,876	10.7	72,914	2.3
19年3月期	1,790,026		139,623		157,981		93,860	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	24 52	24 50
19年3月期第3四半期	44 14	-
19年3月期	56 82	56 81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	2,362,641	1,016,234	32.9	471 23
19年3月期第3四半期	2,262,374	1,001,634	33.9	464 83
19年3月期	2,324,906	1,030,521	34.1	479 87

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	105,141	173,626	41,132	99,200
19年3月期第3四半期	-	-	-	-
19年3月期	142,917	164,239	35,558	125,990

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通 期	1,940,000	8.4	120,000	14.1	125,000	20.9	85,000	9.4	51 48

上記の業績予想については、平成19年12月25日に公表した数値から変更してありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 [除外 1社(住化武田農薬株式会社)]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

業績予想(連結・個別)の適切な利用に関する説明、その他特記事項

これらの予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9ヶ月)のわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加や、中国を中心としたアジア経済の拡大を背景に輸出が堅調に推移したことから、ゆるやかな回復を続けてきました。しかし、年後半から原油価格の高騰に加え、サブプライムローン問題に端を発する米国経済の下振れリスクの増加等から、景気の減速懸念が強まってきました。

このような状況の中で、当社グループの第3四半期の売上高は、前年同期に比べ948億円増加し、1兆3,910億円となりましたが、損益面では、原料価格の高騰、減価償却費や研究開発費等の固定費の増加により、営業利益は759億円、経常利益は855億円、四半期純利益は405億円とそれぞれ前年同期に比べ減益となりました。

当第3四半期(9ヶ月)の事業の種類別セグメントの概況は以下の通りです。

(基礎化学)

カプロラクタムやアクリロニトリルなどの合繊原料やメタアクリル等の販売が、市況の上昇により増加しました。この結果、売上高は前年同期に比べ58億円増加し2,340億円となりました。営業利益については、メタアクリル等の市況上昇による採算の改善があったものの、原料価格の高騰や固定費の増加の影響により、前年同期比ほぼ横ばいの96億円となりました。

(石油化学)

合成樹脂の販売は、アジア市況の上昇や、原料価格高騰に伴う国内の製品価格の是正により増加しました。また石油化学品についても、原料価格の高騰を背景に市況が上昇し、販売が増加しました。この結果、売上高は前年同期に比べ431億円増加し4,409億円となりましたが、営業利益については、製品価格の是正を上回る原料価格の高騰や、国内の製造設備における4年に一度の大型定期修繕の影響により、前年同期に比べ132億円減少し43億円となりました。

(精密化学)

医薬中間体の販売が拡販により増加したため、売上高は前年同期に比べ6億円増加し696億円となりました。営業利益については、原料価格高騰の影響により、前年同期に比べ9億円減少し、91億円となりました。

(情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムやカラーフィルターの販売は、韓国での生産能力の増強による出荷数量の拡大により増加いたしました。販売価格については、当期に入ってから下落は緩やかになったものの、前年同期との比較では大幅に下落しました。拡散板や液晶ポリマー等の出荷は堅調に推移し、販売が増加しました。この結果、売上高は前年同期に比べ158億円増加し2,140億円となりました。営業利益については、下半期に入り大幅に回復しているものの、偏光フィルムの販売価格の下落や、生産能力増強に伴う固定費の増加により前年同期に比べ84億円減少し2億円となりました。

(農業化学)

飼料添加物の販売は拡販や売価の上昇により増加しました。家庭用殺虫剤についても海外での出荷が堅調に推移し、販売が増加しました。農薬については、下半期に入り国内の出荷が回復基調にあります。この結果、売上高は前年同期に比べ43億円増加し1,426億円となりましたが、営業利益については、原料価格の高騰や、住化武田農薬の統合に伴う一時的な費用の発生により、前年同期に比べ17億円減少し114億円となりました。

(医薬品)

アムロジン(高血圧症・狭心症治療薬)、ガスモチン(消化管運動機能改善剤)、メロペン(カルバペネム系抗生物質製剤)、プロレナール(末梢循環改善剤)の主力4製品の販売は引き続き堅調に推移しました。この結果、売上高

は前年同期に比べ38億円増加し1,792億円となりましたが、営業利益については研究費等の固定費の増加により前年同期に比べ41億円減少し386億円となりました。

(その他)

上記6部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。ラーピグ統合コンプレックスの建設工事の進行に伴い売上高が大きく増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ213億円増加し1,106億円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ15億円減少し34億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の総資産は、前期末に比べ377億円増加し2兆3,626億円となりました。無形固定資産が有機EL事業会社の買収に伴うのれんの計上により増加したことが主な要因であります。

負債は、前期末に比べ520億円増加し1兆3,464億円となりました。流動負債(その他)が未払法人税等の減少により減少しましたが、有利子負債(短期借入金、一年内償還社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金)が前期末に比べ678億円増加し7,088億円となりました。

純資産(少数株主持分を含む)は、前期末に比べ143億円減少し、1兆162億円となりました。自己資本比率は、前期末に比べ1.2%減少し32.9%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績の見通しは、平成19年12月25日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社：住化武田農薬株式会社(合併)

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準は「中間連結財務諸表等の作成基準」に準拠した簡便法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

重要な減価償却資産の減価償却の方法

法人税法の改正に伴い、当期より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、営業利益は862百万円、経常利益、税金等調整前四半期純利益は894百万円、それぞれ減少しております。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産について、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した翌年より、取得価額の5%相当額と備忘価格との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これにより、営業利益が1,263百万円、経常利益、税金等調整前四半期純利益が1,673百万円、それぞれ減少しております。

(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 平成18年2月31日 現在	当第3四半期 平成19年2月31日 現在	前 期 平成19年3月31日 現在	科目	前年同四半期 平成18年2月31日 現在	当第3四半期 平成19年2月31日 現在	前 期 平成19年3月31日 現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	989,272	994,581	995,895	流動負債	695,559	772,878	707,168
現金及び預金	109,341	87,380	104,224	支払手形及び買掛金	263,000	281,686	261,860
受取手形及び売掛金	375,896	403,349	407,563	短期借入金	150,488	144,077	151,137
たな卸資産	334,383	356,632	327,747	一年内償還社債	33,152	55,193	28,495
その他	172,246	148,939	158,371	コマ-シャル・ペ-パー	56,000	108,000	54,000
貸倒引当金	2,594	1,719	2,010	その他	192,919	183,922	211,676
固定資産	1,273,102	1,368,060	1,329,011	固定負債	565,181	573,529	587,217
有形固定資産	617,242	631,264	623,487	社 債	258,650	250,270	277,900
無形固定資産	42,259	80,695	42,804	長期借入金	130,773	151,212	129,457
投資有価証券	485,260	546,751	486,109	退職給付引当金	40,369	43,398	42,750
その他	129,875	110,858	178,165	その他	135,389	128,649	137,110
貸倒引当金	1,534	1,508	1,554	負債合計	1,260,740	1,346,407	1,294,385
				(純資産の部)			
				株主資本	611,774	650,419	632,602
				資本金	89,699	89,699	89,699
				資本剰余金	23,763	23,772	23,763
				利益剰余金	500,487	539,633	521,433
				自己株式	2,175	2,685	2,293
				評価・換算差額等	155,978	127,625	159,936
				その他有価証券評価差額金	146,034	119,620	146,301
				繰延ヘッジ損益	1,848	1,282	2,301
				土地再評価差額金	3,811	3,811	3,811
				為替換算調整勘定	7,981	5,476	12,125
				少数株主持分	233,882	238,190	237,983
				純資産合計	1,001,634	1,016,234	1,030,521
資産合計	2,262,374	2,362,641	2,324,906	負債純資産合計	2,262,374	2,362,641	2,324,906

(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増 減	前 期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売 上 高	1,296,206	1,390,983	94,777	1,790,026
売 上 原 価	963,543	1,068,163	104,620	1,338,142
売 上 総 利 益	332,663	322,820	9,843	451,884
販売費及び一般管理費	227,259	246,876	19,617	312,261
営 業 利 益	105,404	75,944	29,460	139,623
営 業 外 収 益	32,086	26,676	5,410	45,271
受 取 利 息	1,161	1,624	463	1,844
受 取 配 当 金	4,421	5,714	1,293	5,293
持分法による投資利益	15,178	12,419	2,759	23,607
雑 収 益	11,326	6,919	4,407	14,527
営 業 外 費 用	16,614	17,137	523	26,913
支 払 利 息	8,071	9,256	1,185	11,034
雑 損 失	8,543	7,881	662	15,879
経 常 利 益	120,876	85,483	35,393	157,981
特 別 利 益	24,749	5,879	18,870	31,079
固 定 資 産 売 却 益	-	4,663	4,663	-
投 資 有 価 証 券 売 却 益	24,749	1,216	23,533	31,079
特 別 損 失	5,058	1,594	3,464	7,999
構 造 改 善 費 用	4,447	1,594	2,853	6,378
訴 訟 関 連 費 用	-	-	-	1,010
退職給付制度改定に伴う損失	611	-	611	611
税金等調整前四半期(当期)純利益	140,567	89,768	50,799	181,061
法 人 税 等	52,559	32,090	20,469	65,916
少 数 株 主 利 益	15,094	17,195	2,101	21,285
四 半 期 (当 期) 純 利 益	72,914	40,483	32,431	93,860

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第 3 四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(参考) 前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	89,768	181,061
減価償却費	89,020	113,870
売上債権の増減(増加：)	10,525	5,714
たな卸資産の増減(増加：)	28,006	30,308
仕入債務の増減(減少：)	13,154	6,953
その他の増減	69,320	109,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,141	142,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	24,122	10,188
固定資産の取得による支出	103,920	156,924
その他の増減	45,584	2,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	173,626	164,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,132	35,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	386	781
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	26,967	15,017
現金及び現金同等物の期首残高	125,990	110,972
合併による現金及び現金同等物の増加額	98	-
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	79	103
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	102
現金及び現金同等物の期末残高	99,200	125,990

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	基礎 化学	石油 化学	精密 化学	情報電 子化学	農業 化学	医薬品	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高										
(1)外部顧客に対 する売上高	228,195	397,768	68,962	198,213	138,246	175,475	89,347	1,296,206		1,296,206
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,600	7,915	5,259	4,791	1,455	11	39,856	67,887	(67,887)	
計	236,795	405,683	74,221	203,004	139,701	175,486	129,203	1,364,093	(67,887)	1,296,206
営業費用	227,294	388,200	64,237	194,414	126,539	132,790	124,291	1,257,765	(66,963)	1,190,802
営業利益	9,501	17,483	9,984	8,590	13,162	42,696	4,912	106,328	(924)	105,404

当第 3 四半期(自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	基礎 化学	石油 化学	精密 化学	情報電 子化学	農業 化学	医薬品	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高										
(1)外部顧客に対 する売上高	234,028	440,867	69,571	214,030	142,595	179,249	110,643	1,390,983		1,390,983
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,998	7,657	5,832	4,613	1,205	13	42,775	71,093	(71,093)	
計	243,026	448,524	75,403	218,643	143,800	179,262	153,418	1,462,076	(71,093)	1,390,983
営業費用	233,380	444,232	66,318	218,465	132,367	140,682	150,005	1,385,449	(70,410)	1,315,039
営業利益	9,646	4,292	9,085	178	11,433	38,580	3,413	76,627	(683)	75,944

前 期(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	基礎 化学	石油 化学	精密 化学	情報電 子化学	農業 化学	医薬品	その他	計	消去 又は 全社	連結
売上高										
(1)外部顧客に対 する売上高	314,004	539,065	90,882	266,436	198,310	234,546	146,783	1,790,026		1,790,026
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	11,788	10,887	7,699	6,328	1,853	13	59,271	97,839	(97,839)	
計	325,792	549,952	98,581	272,764	200,163	234,559	206,054	1,887,865	(97,839)	1,790,026
営業費用	312,309	526,356	85,496	269,307	176,912	178,328	198,042	1,746,750	(96,347)	1,650,403
営業利益	13,483	23,596	13,085	3,457	23,251	56,231	8,012	141,115	(1,492)	139,623

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、事業の種類・性質の類似性を勘案して7つに区分した。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要な製品・事業
基礎化学	無機薬品、合繊原料、有機薬品、メタアクリル、アルミナ製品、アルミニウム等
石油化学	石油化学品、合成樹脂、合成ゴム、合成樹脂加工製品等
精密化学	機能性材料、添加剤、染料、医薬化学品等
情報電子化学	光学製品、カラーフィルター、半導体プロセス材料、電子材料、化合物半導体材料等
農業化学	農薬、肥料、農業資材、家庭用・防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策資材、飼料添加物等
医薬品	医療用医薬品、放射性診断薬等
その他	電力・蒸気、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析業務等

3. 営業費用はすべて各セグメントに配賦した。